

## (7) 金属製造業

### ◆ 概要

ここでは、産業中分類の鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業の3業種を合わせて、金属製造業とする。

平成22年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）によると、事業所数は214所で、前年比較では22所減少（対前年増加率△9.3%）している。従業者数は3,850人で、前年比較では517人の減少（同△11.8%）となっている。製造品出荷額等は877億84百万円で、前年比較では6.1%の増加となっている。個別に製造品出荷額等を前年と比較すると、金属製品製造業が8.5%の減少、鉄鋼業が3.0%の減少となっているが、非鉄金属製造業は27.1%増と大きく増加しており、金属製造業全体では出荷額が増加した。京都市の製造業に占める金属製造業の割合は、事業所数が8.0%、従業者数は5.9%、製造品出荷額等は4.0%となっている。平成13年からの推移を見ると、事業所数は減少傾向にあったが、平成20年に20所増と大きく増加したものの、その後再び減少に転じている。従業者数は平成15年から横ばいに推移しており、平成18年に増加したものの、その後は緩やかに減少し、平成21年から2年連続で大きく減少している。製造品出荷額等は平成14年以降緩やかに増加傾向で推移し、平成

18年に大きく増加したが、その後は減少傾向を辿っている〔表Ⅱ-3-7-1、図Ⅱ-3-7-1〕。

### ◆ 市内の金属製造業の特色

金属製造業の特徴を業種細分類別で見ると、鉄鋼業は事業所数が10所と少なく、金属製造業に占める割合は小さい。

非鉄金属製造業は、他に分類されない非鉄金属製造業の製造品出荷額等が最も多く、非鉄金属製造業全体の56.8%、金属製造業全体の27.2%を占めている。これは地元有力企業の存在によるところが大きい。また、21所と事業所数が少ない割に出荷額が多いのは、装置産業としての業種柄、生産設備が整えられているためと考えられる。

金属製品製造業については、製缶板金業の製造品出荷額等が最も多く、金属製品製造業全体の20.2%、金属製造業全体の9.1%を占めているが、事業所数も53社と他と比べて多い。これは京都市には精密分野を扱う大手、中堅企業が多く、製缶板金業としての下請業者が多数散在していることが挙げられる〔表Ⅱ-3-7-2〕。

表Ⅱ-3-7-1 金属製造業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移

（単位：所、人、百万円）

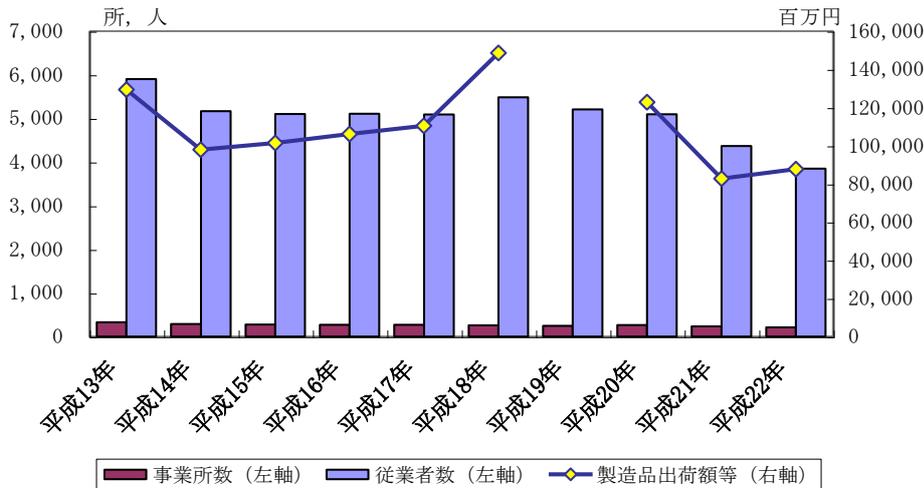
	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
平成13年	330	5,902	129,419
平成14年	288	5,168	97,885
平成15年	279	5,101	101,475
平成16年	272	5,108	106,163
平成17年	273	5,088	110,445
平成18年	258	5,486	148,588
平成19年	247	5,210	χ
平成20年	267	5,097	122,830
平成21年	236	4,367	82,705
平成22年	214	3,850	87,784

資料：京都市総合企画局「平成22年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

注：該当事業所が特定されるおそれのある箇所は、「χ」で表記。

注：平成19年調査で調査項目を変更したため、製造品出荷額等は前回の数値とは接続しない。

図Ⅱ-3-7-1 金属製造業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移



資料：京都市総合企画局「平成22年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」  
 注：平成19年調査で調査項目を変更したため、製造品出荷額等は前回の数値とは接続しない。

表Ⅱ-3-7-2 金属製造業の主な産業（細分類）別事業所数、従業者数、製造品出荷額等

(単位：所，人，百万円，%)

	事業所数		従業者数		製造品出荷額等		
	数	構成比	数	構成比	数	構成比	
<b>金属製造業</b>	<b>214</b>	<b>100.0</b>	<b>3,850</b>	<b>100.0</b>	<b>87,784</b>	<b>100.0</b>	
鉄鋼業	10	4.7	189	4.9	6,253	7.1	
	鉄鉄鋳物製造業（鋳鉄管，可鍛鋳鉄を除く）	4	1.9	60	1.6	404	0.5
	鉄鋼シャースリット業	3	1.4	20	0.5	212	0.2
非鉄金属	21	9.8	897	23.3	41,999	47.8	
	他に分類されない非鉄金属製造業	6	2.8	570	14.8	23,841	27.2
伸銅品製造業	3	1.4	159	4.1	14,656	16.7	
金属製品	183	85.5	2,764	71.8	39,531	45.0	
	製缶板金業	53	24.8	694	18.0	8,004	9.1
	電気めっき業（表面処理鋼材製造業を除く）	17	7.9	366	9.5	5,139	5.9
	ボルト・ナット・リベット・小ねじ・木ねじ等製造業	8	3.7	245	6.4	3,975	4.5
	他に分類されない金属製品製造業	10	4.7	149	3.9	3,254	3.7
	金属プレス製品製造業（アルミニウム・同合金を除く）	8	3.7	188	4.9	2,726	3.1
	その他の金属表面処理業	8	3.7	145	3.8	1,925	2.2

資料：京都市総合企画局「平成22年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

なお、細分類については主なものを取り上げている。